

▼今月の「ポピー」の国語で学習するおもな内容と大切なことがあります。

□の数字は、教科書のページ数です。

## 2年 かさこじぞう

46~62



民話の語り口調を味わおう。

- 地蔵様に笠をかぶせてあげた、じいたま夫婦の物語です。
- 各場面ごとに、じいさまやばあさまの様子や気持ちを読み取ります。
- 貧しい暮らしのじいさま夫婦。
- 吹雪の中の六人の地蔵様に、笠と手ぬぐいをかぶせるじいさま。
- じいさまを優しく迎えるばあさま。
- お礼にくる地蔵様。



## 4年 数え方を生みだそう

78~90

- 日本語のものの数え方について書かれた説明文です。
- 筆者の意見を読み取り、自分の考えを深めます。
- 【日本語の数え方】
- 数だけでなく、後に「本」「台」などの言葉を付けて、どんな物であるかを相手に伝える。
- 【アメリカで日本語を学ぶ小学生たち】
- 一人一人が新しい数え方を生み出した。
- あなたも新しい数え方を考えてみよう。



瀬の主と太一が対決する場面は、すばぐドキドキしますよ。



## 1年 おとうとねずみ チロ

69~82

- きょうだい三匹で暮らしているねずみのチロの物語です。
- 1 おばあちゃんから、「チョッキを編んでいる」という手紙が届く。でも、兄さんねずみと姉さんねずみから、チロの分はないと言われ、心配になる。
- 2 チロがおばあちゃんに、「ほくにわナ」を編んでね。」と呼びかける。
- 3 おばあちゃんから小包が届く。



● きょうだい三匹で暮らしているねずみのチロの物語です。

1 おばあちゃんから、「チョッキを編んでいる」という手紙が届く。でも、兄さんねずみと姉さんねずみから、チロの分はないと言われ、心配になる。

2 チロがおばあちゃんに、「ほくにわナ」を編んでね。」と呼びかける。

3 おばあちゃんから小包が届く。

● 文字や音声を使わないで物事を伝える方法について学習します。

手話と点字

- 手話：手や指、顔や体の動きなどを使って、身ぶりや手ぶりで伝える言葉。
- 点字：盛り上がった小さな点で作りれた文字。指で触って読み取る。
- ピクトグラム：色や絵、記号などを使って、見て意味が伝わるように工夫された絵文字。

記号によるつたえ方

- 句点(。)や読点(、)などの記号：文章を書く時に使う記号。疑問符(?)や感嘆符(！)、「——」や「……」もある。

● 清少納言の「枕草子」書き出しの部分を音読みし、筆者の感じ方や考え方を自分と比べてみます。

春はあけぼの。やうやう白くなりゆく山際、少し明かりて、紫だちたる雲の細くたなびきたる。

春は明け方。だんと白んでいく山のすぐ上の空が、少し明るくなつて、紫がかつた雲が細くたなびいている様子。

## 3年 いろいろなつたえ方

60~63

- 文字や音声を使わないで物事を伝える方法について学習します。
- 手話と点字
- 文字や音声を使わないで物事を伝える方法について学習します。
- 手話と点字
- 文字や音声を使わないで物事を伝える方法について学習します。
- 手話と点字

## 6年 海のいのち

186~200

瀬の主と太一が対決する場面は、すばぐドキドキしますよ。



- 海で死んだ父のあとをついで漁師になつた太一の、成長の物語です。
- 1 瀬の主との戦いに敗れた父。
- 2 太一が弟子入りした与吉じいさが教えてくれる。
- 3 「干びきいのつち一ぴきをつれば、ずっとこの海で生きていくよ。」
- 4 何年かのち、与吉じいさも海に返つたある日、太一はついに瀬の主と会う。
- 5 太一には、大魚はこの海のいのちだと思えた。

- 清少納言の「枕草子」書き出しの部分を音読みし、筆者の感じ方や考え方を自分と比べてみます。
- 春はあけぼの。やうやう白くなりゆく山際、少し明かりて、紫だちたる雲の細くたなびきたる。
- 春は明け方。だんと白んでいく山のすぐ上の空が、少し明るくなつて、紫がかつた雲が細くたなびいている様子。
- 夏は夜。月が出ていればもちろんよい。やみ夜でも、ほたるがたくさん飛びかつてている様子。:
- 夏は夜。月が出ていればもちろんよい。やみ夜でも、ほたるがたくさん飛びかつてている様子。: